



令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果と分析

本年度は、4月19日(火)に6年生を対象に全国学力・学習状況調査を実施しました。

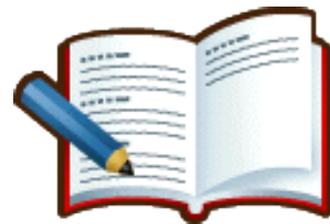
この調査は、文部科学省が「教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ること」「学校における教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てること」「教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立すること」等を目的に、平成19年度から実施されている全国的な学力等の調査です。個人の結果については、既に児童へ個票を渡してお知らせしました。

ここでは、学校としての結果に対する分析と今後の取組等についてお知らせします。

《学力調査(国語・算数・理科)の結果》

① 全国平均との比較にかかわって

- 【国語】：全国平均を上回っている。
- 【算数】：全国平均をやや上回っている。
- 【理科】：全国平均を大きく上回っている。



② 結果に基づく本校の「強み」と「弱み」にかかわって

【国語】：(○ 強み ● 弱み)

- 「登場人物の相互関係について、描写を基に捉える」「人物像や物語の全体像を具体的に想像する」「表現の効果を考える」ことについて、全国の正答率を大きく上回っている。
- 「学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使う」ことについて、全国の正答率を大きく上回っている。
- どのような問題形式(選択・短答・記述)であっても、全国の正答率を上回っている。
- 「文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整える」ことについて、全国の正答率を下回っている。
- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」のうち、「書くこと」について、全国の正答率を下回っている。

【算数】：(○ 強み ● 弱み)

- 「図形を構成する要素に着目して、長方形やひし形の意味や性質、構成の仕方について理解している」ことについて、全国の正答率を大きく上回っている。
- 「基礎的な計算問題(百分率で表された割合と基準量から、比較量を求めること・整数の乗法・最小公倍数)」について、全国の正答率を上回っている。
- 「伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述できる」ことについて、全国の正答率を下回っている。
- 「示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察できる」ことについて、全国の正答率を下回っている。

【理科】：(○ 強み ● 弱み)

- 「昆虫の体のつくり・メスシリンダーという器具など基礎的な知識」について、全国の正答率を大きく上回っている。
- 「観察などで得た結果を、他者の気づきの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる」について、全国の正答率を大きく上回っている。
- 「自分で発想した予想と、実験の結果を基に、問題に対するまとめを検討して改善し、自分の考えをもつことができる」について、全国の正答率を大きく上回っている。
- 「自然の事物・現象から得た情報を、他者の気づきの視点で分析して解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる」について、全国の正答率を下回っている。

③ 指導の工夫・改善にかかわって

《書く活動の充実》

- ◇ 朝・帰りの会でのスピーチ、学活等で、文章をつくって話す活動を取り入れます。
- ◇ 授業や様々な活動において、相手にわかりやすく伝える力をつけるために、自分が伝えたいことを文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文章をつくる活動を取り入れます。

《考察する活動の充実》

- ◇ ペアやグループ学習を効果的に取り入れた学習活動を積極的に進め、自分や他者の考えを聴き合う活動を大切に授業を行います。

《学び合う授業の推進》

- ◇ 課題や課題の与え方を工夫することで子どもたちの興味・関心を引き出し、対話を通して自分と友だちの考えを比較・検討しながら課題解決を図る学習の充実を図ります。

《児童質問紙からみられる特徴》

「児童質問紙」では、ほとんどの質問項目で全国に比べて肯定的な回答が多く、学校生活、家庭生活とも充実感、満足感をもっている子どもが多いことが明確になりました。特に全国に比べて肯定的評価の割合が高い項目から、次のような傾向があることがわかってきました。

- 友だちとのつながりが強く、協力したり助け合ったりできる。
- 夢や目標をもち、人の役に立つ人間になりたいと考えている。
- 勉強が分からないと感じている児童は多いが、勉強は大切で将来の役に立つと思っ
ている。
- 学校全体で取り組んでいる自主学習ノートの実践から、自主的に
学ぶ習慣が身に付いている。
- 読書が好きな児童は全国平均より 7.3% 高い。



《最後に》

今回の調査では、市・県・全国と比べて全体的に肯定的な評価となりましたが、これに甘んじることなく、日々の教育活動の改善・向上に努めてまいります。

保護者の皆様には、家庭での基本的な生活習慣や家庭学習のさらなる習慣化にむけて、引き続きご協力をお願いします。

